

景況レポート

(10月分・情報連絡員80名)

景況DI値が2ヵ月連続で後退

【概況(全体)】

10月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが10.0%(前回調査12.5%)、「悪化」が37.5%(同36.3%)で、業界全体のDI値は-27.5となり、前月調査と比較し3.7ポイント下回った。

全国及び東北・北海道ブロックとの比較では、本県の景況DI値は、製造業は依然として上回っているものの、非製造業は低調となり、全体のDI値は東北・北海道ブロックより低い水準で推移した。

【業界別の状況】

業界別では、繊維工業や建設業などで景況感が後退した。一方、木材・木製品や鉄鋼・金属、運輸業では業況の悪化割合が縮小した。なお、全体の景況感としては、依然として需要の減退や個人消費の低迷等により景気回復を実感できない状況が続いており、また、継続する円高・株安懸念に加えて原油価格の反転動向等も出始めていることから、中小企業の先行きは依然として予断を許さない状況にある。

＜全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較＞

	秋田県	全 国	東北・北海道
全 体	-27.5	-28.1	-26.3
製 造 業	-15.7	-29.4	-22.9
非製造業	-35.4	-27.2	-28.1

＜景況天気図＞

項目	業界の景況	売 上 高	販 売 価 格	取 引 条 件	資 金 繰 り	雇 用 人 員
製 造 業						
非製造業						

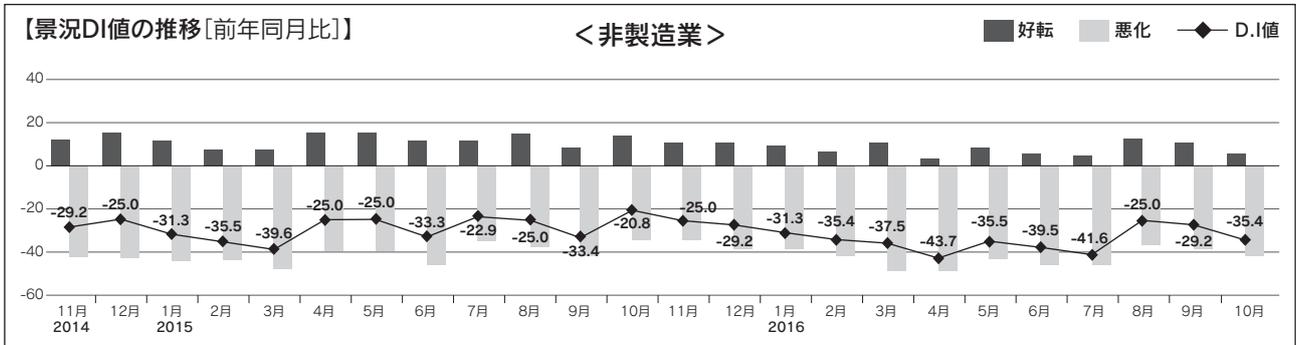
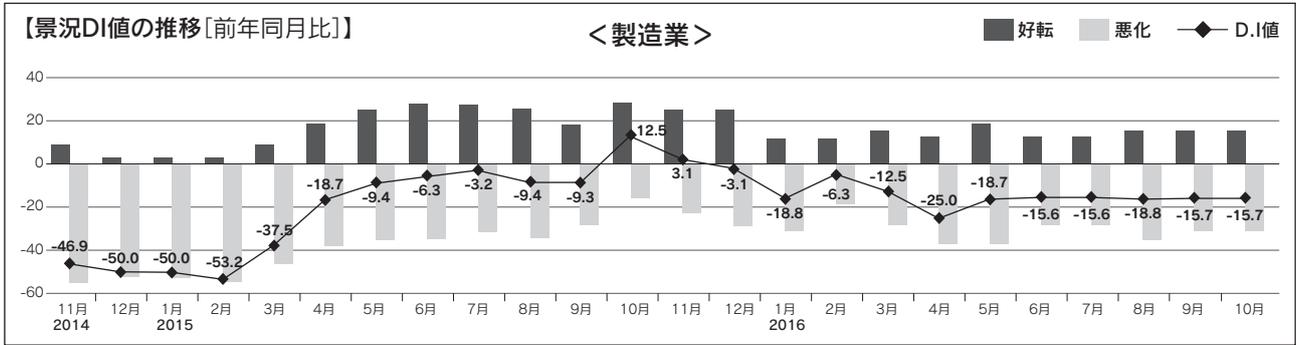
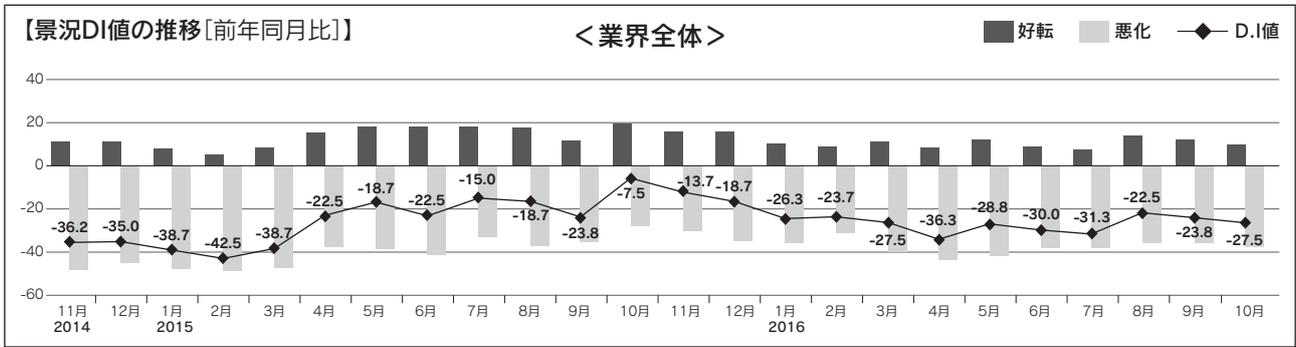
【凡例】 快晴 30以上 晴れ 10以上 30未満 くもり △10以上 △30超 10未満 雨 △30超 △10未満 雷雨 △30以下
 【天気図の見方】 前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

【業界の声】 ～製造業～

(回答数：32名 回答率：100%)

食 料 品 (パ ン)	気温が下がり、売上は回復傾向にある。
織 維 工 業 (ニ ッ ト)	期中生産の追加がほとんどなく、昨年より早く閑散期に入った。インバウンド需要が一段落し店頭売上が不振な上、暖冬予測も出て仕入に慎重になっている。
織 維 工 業 (織 維)	商品の販売状況が悪化しており、全体的に受注量が減少傾向にある。(中央地区)
木材・木製品 (一般製材)	一般建築工事の需要が低迷しており、木材製品等の動きは横ばいで推移している。今後は公共物件の売上に期待したい。(県南地区)
木材・木製品 (プレカット)	10月は、大型案件2件の受注に加え住宅も35件あり、前年比で35%の増加であった。11月も引き続き大型案件があり、前年並みの出荷となる見込である。
印 刷	定期的な受注が微減し、加えて秋のスポット受注が激減した。(県南地区)
窯業・土石製品 (生コンクリート)	10月の出荷数量は、前年同月比89.7%、4～9月の累計では前年比87.6%となった。県内各地とも需要が低迷し、厳しい状況が続いている。
鉄鋼・金属 (鉄 鋼)	各組合員企業とも生産性が高く、稼働率も高水準で推移した。今後の受注物件も確保されている。
一 般 機 器 (金属加工)	業況は、総じて活発に推移している。しかし、取引条件は依然として厳しい状況にある。
その他の製造業 (漆 器)	産地の一大イベントである「川連塗りフェア」が開催されたが、例年より若干売上が減少した。参加者が減少したこともあるが、漆器の需要が落ちてきており、購買意欲をそそる商品の開発等、内容の見直しも必要と考えている。今後は物産展等の開催が多くなるため、川連漆器の普及に努めていきたい。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：48名 回答率：100%)

卸売業 (商業卸)	今後も需要の停滞や同業者間の競争激化等により、厳しい経営環境が続くと予想している。(秋田市)
小売業 (ポイントカード)	ポイントカードの売上は、前年比(4月~9月)10~15%減少となっている。
小売業 (共同店舗)	10月は、前年同月比で売上が12%、客数が11%それぞれ減少した。各部門別の売上も総じて減少となり、厳しい状況となった。(能代市)
商店街	10月は、「全国まるごとうどんEXPO2016」や「種苗交換会」が開催され、来場者も多かった。しかし、開催期間だけの賑わいに終始し、継続的なものにはならなかった。また、イベント開催時にもかかわらず、商店街の売上は増加に繋がっていない状況である。(湯沢市)
サービス業 (旅行)	10月の売上は、前年同月比で国内旅行は118.5%、海外旅行は100%で推移した。国内旅行は依然として好調を維持しており、海外旅行も数ヶ月ぶりに好調であった。
サービス業 (タクシー)	速報値では、前年同月比で運行回数が92.1%、運送収入が91.8%と前年同月を下回った。好天続きと紅葉シーズンの遅れが影響したことに加え、乗務員不足により運送収入は大幅に減少している。
建設業 (管工事)	組合取扱資材の売上は、前年同月比では微増となったものの、累計では約5%の減少となっている。(秋田市)
運輸業 (トラック)	10月の貨物状況は順調に推移しており、前月比、前年同月比ともに輸送量が約5%増加している。収益状況も前月比、前年同月比ともに約10%増加している。しかし、燃料価格は値上がりが続いている。(県南地区)
その他の非製造業 (砂利採取)	繁忙期を迎えたものの、骨材の荷動きは鈍い状況である。(県南地区)